

校長通信「つぶやき」 佐伯市立鶴谷中学校 校長 渡邊和彦

令和6年11月22日 第16号（通算第71号）

○どんなことがあっても朝一番に

そう思って「つぶやき」を書き始めています。大変、休刊・が長くなり一部の方々にはご心配をおかけしました。心よりお詫び申し上げます。すみませんでした。寒くなりました。寒いからだというわけではないのですが寂しさを感じる事も多くなります。孤独感・・・寂寥感・・・無力感・・・虚無感・・・絶望感・・・でも、そんな時でも、何気ない言葉で、支えられ気付かされることもあります。あるいは子どもたちの歌声や、必死に頑張る姿や、笑顔で。私が行ってる、あるクリニックの待合室にこんな言葉がありました。院長先生のオリジナルな詩だそうです。一部だけ。

「（中略）今日は太陽が目に染みる。自然と頬に涙がつたった。夜明け前が最も暗いという。そして、必ず陽は昇る。明日は、今日よりももっといい日になる。」

先生が海を隔てたご親族と帰省のやりとりの電話をした直後に書かれた詩のようです。年甲斐もなくブルーハーツというバンドや解散後のTHE HIGH-LOWS やクロマニオンズ（笑）などが大好きで、甲本ヒロトさんを尊敬しています。彼の言葉（真偽・出典は、定かでないけど）

「大リーグで活躍したいと思うことは夢じゃないんだよ。野球をやりたいというのが夢だ。」

中学校の野球部の指導を20年させてもらえた。自分の野球を含めると26年になるんだろうか。人生の半分は野球とともにあった。野球がやりたいなとおもう。野球で出会った子どもたちや仲間達にまた会いたいと思う。そして体が震えるような緊張や興奮や感動を味わいたいと思う。それはどんな形でも良い。野球なら何でも良い。今頃になってやっとわかったと思うのです。

「“楽しい”と”楽“は違うよ。“楽しい”と”楽“は対極だよ。楽しいことがしたいんだったら楽はしちゃダメだと思うよ。楽しようと思ったら楽しいことはあきらめなきゃダメだね。ただ生活は楽な方が絶対良い。」

「ルールは破ってもマナーは守れよ。」文化祭の時に声をかけてくださったお母さん方、職場にいた僕の教え子に「つぶやき」の事褒めてくださったお母さん、そして待っていてくれた生徒の皆さん。本当に有り難う、ゴメンナサイ、頑張ります。